

🌸🌸 これからの川育て（維持管理）について 🌸🌸

維持管理については、様々な意見があると思いますが、良好な環境を維持していくための欠かせない活動であることは間違いありません。それぞれの関係者ができることから実施していく必要があると思います。

ここで、住民の皆様にもお願いがあります。今後利用していく中で、みなさんが無理なくできる維持管理として、“川育て”を考えてみませんか？

例えば、「犬の糞は必ず持ち帰る」「ゴミは捨てないようにする」「気になるところがあれば府・市に連絡する」など、利用する上でのルールを作ることも“川育て”の第一歩ではないでしょうか。

“良好な環境を育てていくために”、“他の人に気持ちよく使ってもらうために”そして“みんなに愛される場所に育てていくために”は、皆様の協力が必要です。できることから始めてみませんか？



維持管理の一例：

行政と協働していく上で、継続性を確保する観点から、大阪府寝屋川では、任意団体を設立しました。この組織は、市民主導の組織で、行政が実施するワークショップと一緒に、川の改修にあたっての計画づくりや実施計画にも関わりました。

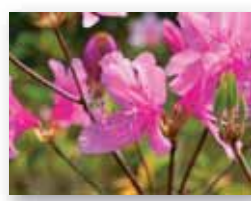
さらに、「環境部会」「親水部会」「歴史文化部会」「清掃部会」等のグループを作り、平成18年度には延べ100回以上の活動を行いました。植物・生物のモニタリング（実態調査）や、清掃活動、幹線水路の川くだり、源流域のハイキングや間伐作業、中国人企業研修生の受け入れなど、多様な活動を続けています。一連の活動の中で、整備の多くを市民工事として実施した箇所もあります。まさに「自己決定がやる気を生む」活動を実践しています。

維持管理（川育て）と一言で言っても、様々な形があると思います。その中で、多くの事例を参考に、大手川に合った維持管理（川育て）の方法を見つけ、小中学校の総合学習、高校のクラブ活動、自治会や子ども会など、多くの人とのネットワークをつくり、自主的な活動を継続し、上宮津をより魅力的な場所にしましょう。

🌸🌸 宮津市の市木・市花 ～市の「木」・「花」をご存じですか？～ 🌸🌸



■市の木『クロマツ』
樹皮は灰色で名前の由来にもなっている。潮風や公害に強い。古来から盆栽用の樹種としても使われている。



■市の花『ミツバツツジ』
4～5月頃に葉が出る前に紅紫色の花を咲かせます。枝先に3枚葉を出すのが名前の由来。

大手川・川ワーク参加者

伊藤 千夏/伊藤 秀樹/岡田 英文/車田 公一/粉川 正太郎/粉川 紀子/後藤 真里子/柴谷 保生/上家 透/白石 裕久/直田 国昭/直田 正美/関野 揚司/智原 侃一/智原 正明/智原 芳明/細見 照一/細見 英子/細見 貢/細見 ゆかり/松田 豊/宮本 裕章/八尋 慈教/吉田 明生/東井 裕純/安藤 浩道/坂井田 貴士/橋本 和実/平田 俊也/安田 肇/井上 靖生/片岡 しおり/久保田 洋一/庄野 洋平/平野 寿謙/山本 忠雄 ※敬称略

◆お問い合わせ先：京都府丹後土木事務所 災害対策室 平田、安田、安藤、坂井田
TEL：(0772)22-3243 FAX：(0772)22-3250
ホームページ：http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/

「調べて、学んで、創ろう！上宮津の親水空間」

大手川・川ワークだより

発行
京都府丹後土木事務所
〒626-0044 京都府宮津市字吉原 2586-2
tel：0772-22-3243 / Fax：0772-22-3250

『第2回大手川・川ワーク』開催！！

「調べて、学んで、創ろう！上宮津の親水空間」大手川ワークショップから「大手川・川ワークだより」第2号を発行します。この“たより”は、ワークショップ形式で参加者の皆様と一緒に大手川（上宮津地区）の川づくりについて検討している模様を取りまとめたものです。このワークショップは、今後あと1回を予定しており、終了後にも“たより”を発行する予定です。

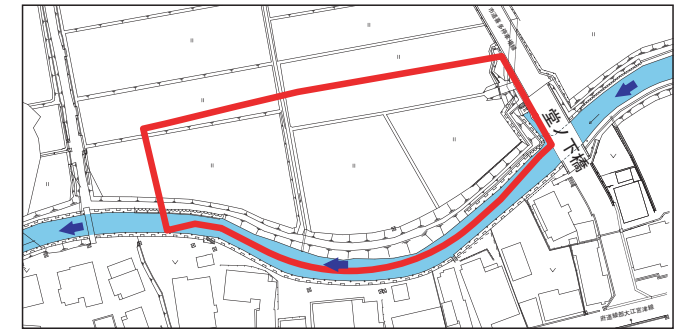
ワークショップ開催のあいさつ



京都府丹後土木事務所
災害対策室長 東井裕純

大手川の改修も、約3年が経過しました。上流では、新中橋の架け替えもほぼ終了し、現在は盛林寺橋の架け替えを行っております。（平成19年9月24日現在）もうしばらくの間、ご理解とご協力をお願いいたします。

前回のワークショップでは現地見学と意見交換を行っていただきました。今回はより具体的なご意見を頂き、川に親しめる空間整備を提示していただきたいと思います。今回みなさんと構想を練った空間が将来、日常的に川に接していただく事によって、総合学習や、地域のコミュニティ形成、防災意識の向上、川への愛着へと繋がる事を期待しております。



整備対象範囲位置図

ワークショップの開催経過と予定

■第1回ワークショップ■

7/22 (日)
・現状の把握
・課題の整理

開催済み

第1回ワークショップ開催
平成19年7月22日（日）、宮津市上宮津地区公民館において第1回ワークショップが開催されました。

■第2回ワークショップ■

9/24 (月・祝)
・整備テーマの設定
・整備計画案作成

開催済み

第2回ワークショップ開催
平成19年9月24日（月・祝）、宮津市上宮津地区公民館において第2回ワークショップが開催されました。

2ページに詳しく掲載！

■第3回ワークショップ■

12/2 (日)
・整備計画案の取りまとめ

次回

次回は最終回！第3回ワークショップ

8月からみなさんと進めてきたワークショップも、次回で最終回を迎えます。これまでに出していただいたみなさんの意見を総合的にまとめて、整備計画案を提示します。

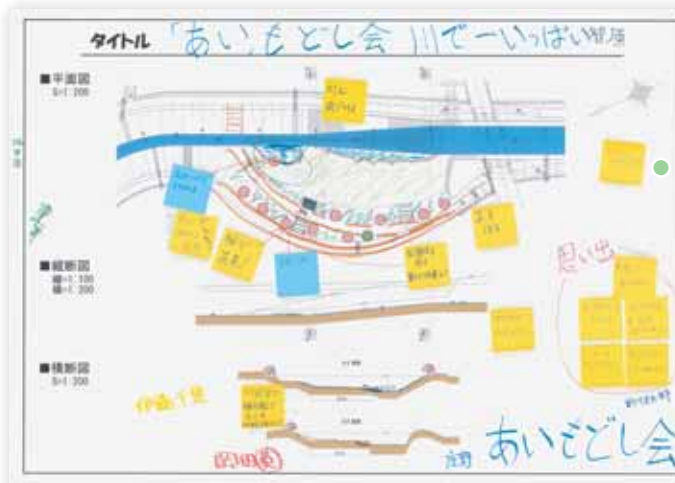
第2回目の今回は、前回同様3グループに分かれた後、これからの大手川に対するイメージや思いを具体的に絵にしていける作業が行われました。みなさん真剣に取り組んでいただき、様々な視点からの提案・議論が行われました。

ワークショップ内容

1. 第1回ワークショップについての報告
2. 情報提供（多自然川づくりや魚道など）
3. グループ作業
4. 全体発表
5. 講評
6. ふりかえり

各グループの検討を披露

「思いを絵にするための注意事項」や「様々な事例」が示された後、グループ活動が開始されました。前回のワークショップで共有した「大手川の良いところ、悪いところ」をふまえ、整備計画案の検討を行いました。各グループでの検討内容は、絵としてまとめられ、最後にグループリーダーにより披露されました。主な検討内容は次のとおりです。



グループ1
「あいちどし会」

タイトルは
「川でいっぱい」

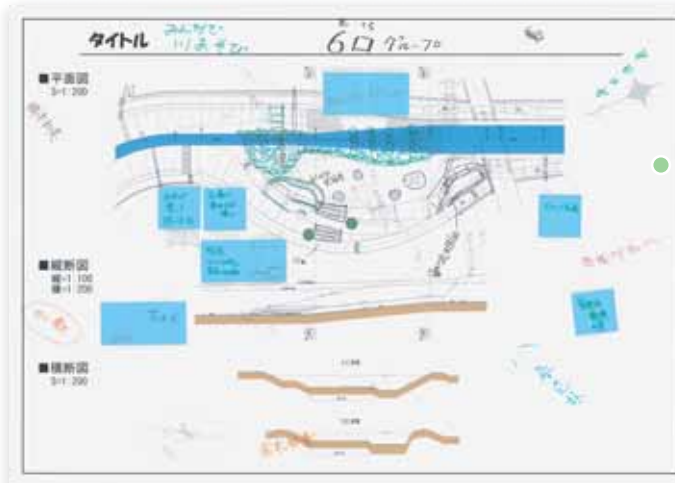
- ・川辺まで緩勾配でおとす（水平もいれつつ）
- ・足をつけて座れる
- ・桜で花見！
- ・石階段を作る・草刈りも楽に！
- ・維持管理が楽なように
- ・魚を釣ってバーベキュー
- ・芝をはる
- ・スロープ



グループ2
「イクラ丼グループ」

タイトルは
「サケと一緒にコンサートもできるでえ〜」

- ・毎日川に親しめるようにできるだけ川に近くしたい
- ・ワンドがあれば魚が棲みやすいし、鳥も来ていい
- ・カワセミブロックをつくってほしい
- ・子供の遊び場
- ・広場は、芝か土か、石畳もいいかも
- ・休憩所をつくりたい
- ・植樹をしたい（ヤマボウシ・ネムノキ・サクラ・モミジ・ヤナギ・イチヨウなど）



グループ3
「ムロ班」

タイトルは
「みんなで川あそび」

- ・足がつけられるような川にして、座れる石で囲う
- ・イベント、多目的広場
- ・イベント時の客席になる様な階段
- ・自然石のベンチ、木陰ができるように植樹する
- ・子供が昇って遊べる石
- ・草刈り時に広場に車が入れる進入路
- ・西洋芝はダメ（他へ飛んで迷惑がかかる）
- ・管理用の電源・水道



参加者の感想

私が、きづいたのは、

- ・前回にも増して積極的でした。
- ・みんな思いは同じ、川や人が大切なんですね。
- ・他の川のイメージが湧く様に資料を付けてくれたことが良かった。
- ・誰もが同じ様な事を望んでいる。
- ・多くの方々と同じ考えで遊び心がある大人だなあ。

私が、おどろいたのは、

- ・熱心だった。みんな同じような考えだった。
- ・かわせみ用のブロックがあったり、色々知らない物があるんだなあ。何でも思った事を言葉にすると良いんですね。
- ・3グループとも同じようなイメージになったこと。

私が、うれしかったのは、

- ・川と親しめる場所が確保されている。
- ・楽しく、話し合いが出来たこと。
- ・積極的に意見がでたこと。
- ・管理も含め、地元の川をつくっていくことをみんなが考えていること。
- ・こんな広場が実現するのかなあって身近な感じがしてうれしいです。

私が、がっかりしたのは、

- ・欠席者があった事。

私が、学んだのは、

- ・全国でいろいろな工法がある事。
- ・皆さん自然が良いのだ。
- ・芝を張ったら将来的にどうなるか、木を植えたらどうなるかななどの知恵を学んだ。
- ・完成後、ここの維持管理する事が多い。

私にとって、必要だと思ったのは、

- ・小さい子が安全に遊べる空間。
- ・安全性とゆとり（いこい）の両面の確保。
- ・ひろい知識・情報。
- ・意見を言う事。
- ・地元を大事にする。

その他に、考えたこと、書いておきたいことは、

- ・みんなの思いが実現できること。
- ・維持管理についての具体的な議論を次回は期待したいです。
- ・みんなが利用できる空間ができる様にしたいです。
- ・とにかく地域を知ろう。
- ・上宮津を育てる。



大手川の思い出

- ・泳げるような深い場所がたくさんあった。
- ・木のまわりにはホタルがいた。
- ・校歌に歌われた。

学カみ心足霧光わ「
びあんなや音ののいて大
のわなさしく高風風て手
道せせ胸くよよくる川
進をはりむり校
むり

上宮津
小学校
校歌

